

開催日・場所	令和2年11月12日(木) 農村環境改善センター 農事研修室AB	参加者数	一般参加者30人 地域担当職員6人
--------	----------------------------------	------	-------------------

項目名	内容	地区・場所	備考	担当	回答
1 鶉野飛行場跡活性化事業の総合的な計画と周辺道路整備等を含めた安全対策	紫電改模型公開や巨大防空壕跡での映像展示などに多くの来観者があり、令和4年春に地域活性化拠点施設が完成すれば更に多くの来訪者が訪れ、九会地区の活性化にもつながると期待してる。一方で、周辺道路の整備を急がれてはいますが、県道三木穴栗線への接続は令和5年春の予定など道路整備の方が後になると聞いています。現在、変則交差点での渋滞や多くの車が道幅の狭い門前鶉野線や加西中学校の通学路を通行している状況もあ、案内看板の整備、路面補修や側溝整備、カーブミラーの設置など早急な安全対策を要望します。また、市道中野家塚線の交通量が増大し、小学生の通学も危険な状態で歩道整備等の対策もお願いします。	鶉野飛行場跡周辺		ふるさと創造部 都市整備部	<p>【土木課】 地域活性化拠点施設開設と(仮)鶉野飛行場線開通のタイムラグに対応するため、周辺道路においてもできる限りの安全施設整備等を行っていきたく考えています。 また、ご指摘の市道中野家塚線の路肩整備(水路蓋掛け)については、本年度L=140mの工事を発注しており、次年度以降も計画的に整備を進めていきます。</p> <p>【鶉野未来課】 案内看板については、今年度中西町交差点、フラワーセンター前交差点、鶉野南交差点に整備します。今後も計画的に整備をしていきます。</p>
2 鳥獣害対策	<p>①イノシシ被害対策として、金網柵や電気柵の設置を進めているが、イノシシの田畑進入による農作物への被害、畦畔・水路・農道を掘りかえすなどの被害が深刻である。猪獲捕獲等の対策(狩猟免許取得への補助、罟、檻などの捕獲道具の整備、捕獲の際の補助金等)を強力に進めてほしい。</p> <p>②九会地区は小野、加東、加古川市と接している。また、自衛隊青野ヶ原演習地もある。隣接市や自衛隊がどのような獣害対策を行われているのか、連携した取組ができないのかをお尋ねしたい。</p>	九会地区 南部・東部		地域振興部	<p>①猪捕獲に対する対策について 市の補助制度として、狩猟免許取得費用の半額補助を行っています。 また、罟、檻などの捕獲道具の補助については、既存の防護柵等で被害を防げていないために補完する場合や、既存の防護柵が老朽化等で機能が喪失しているために代替えとして設置する程度の小規模な罟については、多面的機能支払い交付金の対象とすることができます。捕獲報償費は現在のところ検討していません。</p> <p>②周辺市や自衛隊青野ヶ原演習地との隣接地は、猟銃による有害捕獲について、市をまたいだ銃の使用が行えないことや猟犬の回収の問題から実施ができないのが実情です。こういった地域については、箱わなによる捕獲を重点的に行う必要があります。 自衛隊青野ヶ原演習地内においては、猟友会の会員の方が箱わなを4基設置しており、有害捕獲及び狩猟されております。</p>

3	九会地区におけるコミバスの将来的ビジョンの検討	現在、九会地区において北条市街地～フラワーセンター～中野町までの路線はあるものの、便数も少なく利用しにくい状況である。少子高齢化が進む中、高齢者の受診や買い物に送迎のシステムを立ち上げられた町もあるが事故等の心配もある。公共としての移動手段の確保を検討願いたい。学校の在り方の検討もされると聞けが、例えば通学バスを昼間の高齢者の移動手段に利用などの方策もあわせて検討願いたい。	九会地区		ふるさと創造部	「加西市地域公共交通網形成計画」では、まちなか巡回とまちなかから交通結節点までの市内連携軸をコミバスねっぴ～号で、各町内から交通結節点までを地域主体型交通でまかなうことを願っています。九会地区にこの度商業施設ができることに伴い、そこを交通結節点として整備し、コミバスねっぴ～号をこれまで以上に運行する検討を行っていきます。九会地区におかれましては、各町からその結節点までの地域主体型交通の導入の検討をお願いできないかと考えています。
4	防災無線設置申請の進捗状況	令和2年6月議会で青野ヶ原周辺整備事業(九会地区及び富合地区4町の防災無線設置)についての実施設計費用を議決いただいた。その後の計画作成状況や防衛施設局への申請に向けた進捗状況について説明をお願いします。	九会地区		総務部	青野ヶ原周辺事業について、地域振興波を活用したコミュニティー無線の構築を行う予定です。現在、9月24日に現地調査を行い、9月30日、10月1日、10月2日、10月5日、10月7日と電波伝搬実験を行いました。今後の予定は、次の通りです。 ・令和2年12月頃：近畿総合通信局に設置計画案を提出 ・令和3年3月末頃：設計書完成 令和3年3月頃近畿中部防衛局に補助申請を提出し、採択を得れば令和4年6月頃に工事発注し、順次運用していく予定をしております。
5	豪雨等に対する浸水害対策、雨水渠整備等の整備・工事計画について	中野地区雨水渠(第3工区)の樋門築造工事が始まっている。全国的にゲリラ豪雨や線状降水帯による水害等が多発している。九会地区においては、特に九会小学校西側の住宅・商業地の再開発をはじめ、鶉野飛行場跡周辺の整備などが進んでいるが、雨水がうまく捌けるのか心配である。今後の工事計画を教えてください。また、万願寺川と下里川合流地点での浸水害等への対策の計画についても教えてください。	九会地区南部		生活環境部	中野地区市街化区域の雨水排水計画は、平成25年度に現地調査を実施し、排水区域を3ブロックに区分し、下水道事業計画の降雨強度7年確立により策定しています。雨水渠の整備は平成26年度から計画的に実施しています。まずは、雨水渠幹線について、整備を進め、2つの排水区域の雨水幹線は完了しています。残る1つの排水区域の雨水幹線が、ご質問の雨水渠となります。樋門の完成後、樋門(朝日橋附近)から国道372号までの区間約300mの工事は、国の交付金を活用しながら、令和3年度から工事を実施する予定です。残る雨水渠(枝線)は、幹線の整備が完了した後、市の財政状況、市内公共事業のバランスを考慮し、順次、整備を進めます。  降雨時には河川水位を確認できるよう万願寺川の朝日橋付近に、県が河川監視カメラを設置しております。そのカメラの映像がライブで、県のCGハザードマップにより監視する事ができますので、避難判断水位(2.7m)に達した場合は、速やかに避難勧告を発生し、市民の方々の身に危険が及ばないように努めたいと思います。  なお、令和2年8月に河川の洪水浸水想定区域が1/100年確立から1/1000年確立の降雨量に見直されました。これは、河川改修の計画規模を大きくする趣旨のものではなく、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保するための注意喚起を目的としていますので、従来同様に早めの避難をお願いいたします。

6	南部給食センター跡地の有効活用	1月に新南部給食センターの稼働が始まる。旧センターは国道372号線と県道三木穴栗線が交わる交通の要所にあり、跡地の有効活用について、地元関係町と十分な協議をお願いしたい。	下宮木町、下宮木村町		教育委員会	解体後の跡地については、教育委員会の所管から市長部局へ所管替えを行い、普通財産として管理をする予定です。これにより、売り払い、貸付けなどの経済的価値を発揮するような形で利用が可能となります。また、具体的な計画は決まっておりませんが、今後、市長部局において地域の方々からの要望も踏まえ、総合的に勘案しながら、具体的な計画を策定していくことになります。
---	-----------------	---	------------	--	-------	--

当日出された  
その他の意見

- ・地域活性化拠点施設のトイレについて
- ・戦争の正しい歴史の伝え方について
- ・コミバスを検討する上で、宇仁の利用状況と補助額について
- ・防災無線のシステムについて
- ・ハザードマップの見直しの検討について
- ・避難場所としての公民館のバリアフリー化について